

YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS ITALY s.r.l. (YI-IT) CSRLレポート

事業内容: PRODUCTION OF OFF SHORE&IN SHORE HOSES
 敷地面積: 70,602m²
 従業員数: 86名 (2017年12月)
 所在地: Località Tamarete, 66026 Ortona (Chieti province) - Italy

相談・苦情などの受付窓口:

Contact for consultation and complaints: Dept. Human Resources Department
 Tel: +39 085 90338201 Fax: +39 085 90338401



社長ご挨拶



スティーブン・ジョンソン

横浜ゴムは2014年にオルトナ工場を設立して以降、製品の品質管理を重視して、各工程での作業の高度化を進めています。2015年には、適正な事業活動管理のため、デザインレビュー (DR) 手法を導入しました。ラボ試験、試作試験を経て、本格生産までの認定などの基準をより明確にして運用を行いました。2016年には、生産不具合に対する根本原因分析を行う「PYB方法論」を導入し、予防措置を確立しました。これにより、品質問題の再発防止

策などの実施状況を可視化することができました。

同様に、私たちは、安全と環境を重視しています。そこで、既存の雨

水管理システムに、新しい排水処理システムを追加採用し、環境への影響を低減することができました。また、私たちは、埋立処分の代わりに廃棄物を回収して、廃棄物を再利用する外部企業を探すことに尽力しています。さらには、R22フロンガスを代替することを進めています。安全に関しては、当社は電動リフト装置を購入することにより、重量物取扱い時のリスクを軽減することに努めています。個人用保護装置は、自動販売機を通じて提供し、従業員への訓練は、現在の安全法に従って定期的を実施しています。

2017年に、ISO9001:2015とISO14001:2015の要件を満たすことができ、新しく認証を取得しました。

組織統治

組織と体制の見直し

重要事項を適切に管理するために、品質および安全衛生・環境 (Quality & HSE) を管理する部門は2つに分かれており、異なるマネージャーに責任が与えられています。

2017年に新技術への関心を高め、常に変化する市場の需要に対応す

るために、製品材料&システム開発部門を新たに創設しました。その目的は、横浜ゴムの専門家とのより高い相乗効果を発揮し、当社製品の品質とコストの競争力を強め、より高い成長を可能にすることです。

人権

人権と雇用

YI-ITでは7名の障がい者を雇用しています。

また、各自の従業員の家庭の状況に対応するために要望を受けてアルバイトを許可しています。

同社は、英国出身の工場長と日本出身の副社長をはじめとして、外国人労働者と外国文化を歓迎し、交流を図っています。

統合方針

ヨコハマ工業品イタリアは、品質、安全、環境の総合的な要件を満たす製品とサービスを提供することにより、お客さまのニーズを満たすことを目指しています。

使命：環境保護、汚染防止、持続可能性、および従業員の安全衛生を重視し、取扱う石油製品、化学品、石油化学製品の品質管理、信頼性確保、納期厳守を通じて、ゴムホースの設計と製造のリーダーとして認められること

適用範囲：以下に示す販売部門からサプライヤーの選択までの全ての組織が範囲となります。

組織：販売部門（主な顧客、代理店）、サプライチェーン管理部門（サプライヤー、請負業者）、財務・経理部門、技術部門、プロジェクト管理部門、品質管理部門、生産部門、物流部門、安全衛生環境部門、人事部門、横浜ゴムおよび本社

目標：

- ・顧客サービス
- ・財務パフォーマンス
- ・収益性の成長
- ・人材の高度化

そのためにも、当社は、環境方針と労働者の安全に取り組む必要があり、現在の方針に従って以下の活動を行います。

- ・法律や規制、および事業に適用される環境と安全に関する要求に従って、現場作業における予防と環境保護と事故防止の効果的な施策を促進する。
- ・統合管理システム (UNI EN ISO 14001およびOHSAS 18001) の要求事項への適合を図っていく。
- ・統合システムのパフォーマンスを定期的に評価する。
- ・継続的改善の観点から、少なくとも年1回、安全と環境の目標を見直す。
- ・安全および環境に関連する全ての不適合を取り除く。
- ・違反の発生または再発を防ぐための是正措置および予防措置を実施する。
- ・事業活動の環境側面とリスクを監視し、環境への影響を最小限に抑え、職場におけるリスクを削減する行動を実施する。

このため、当社は以下の目標達成を目指しています。

- ・全ての環境基準値の監視および管理
- ・廃棄物量の削減
- ・資源の使用量を削減
- ・排水中の汚染物質の減少
- ・温室効果ガスの排出を減少
- ・職場での作業環境の改善
- ・事故発生の極小化

取り組み：

◆コンプライアンス

国際規格 ISO 9001:2015、ISO 14001:2015 および OHSAS 18001:2007 に従って、統合された品質、環境および安全を積極的かつ継続的に向上する。

コンプライアンスの義務、環境と安全に関する法的要件、および当社が合意し適用されるその他の要件を遵守する。

◆製品とプロセス

公害や事故、職業病の予防と品質水準の維持、そして顧客の要求に対応するために、工程管理と規定の策定を計画し、実施する。

清潔さと柔軟性を最高の水準で達成するため、継続的な研究と廃棄物の削減を推進する企業文化の構築に2Sシステムを採用する。

◆サプライヤーと請負業者の管理

サプライヤーと請負業者を定期的に監査し、環境と安全を尊重した品質の両面で継続的な改善活動を行う。

◆資源・人材

周知、教育、訓練を通じ、全てのスタッフ、特に経営幹部が目標達成のための全ての取り組みを理解し、関与させる。

労働安全衛生



OHSAS 18001登録証

環境マネジメント

当社は、環境負荷の低減を第一に考えています。その目標を達成するための活動を行っています。

排水処理、新型空気圧縮機システム、新型ボイラー室などの新設備の導入により、2017年度の温室効果ガスおよび水消費の環境への影響を低減することができました。

また、すでに述べたように、YI-ITはISO14001：2015認証を取得しています。



ISO14001登録証

環境データ

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	
廃棄物発生量 (t)	—	0.0	0.0	131	110	
埋立率 (%)	—	0.0	0.0	0.0	0.0	
埋立量 (t)	—	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	—	—	0.0	376	347
	燃料	—	—	0.0	404	357
	合計	—	—	0.0	780	704
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	—	—	—	1.3	1.2	
水使用量 (千m ³)	—	—	—	17.2	11.5	

※年度：1月～12月
 ※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年度以降は、海外拠点の算定では、GHGプロトコルを使用しました。

公正な事業慣行

当社はサプライヤーとの継続的な連絡と協力関係の維持を図っています。主な18のサプライヤーはヨーロッパにあります。毎年、品質と信頼性の面でサプライヤーの成長を促進するため、監査スケジュールを設定しています。

供給に必要な目標を確実に達成することを目的として、継続的にサプライヤーの実績を検証、チェックしています。



取引先との会議の様子

消費者課題

PYB管理は、品質への影響に関する顧客の問題の分析にも使用しています。その結果を踏まえ、毎年、品質、環境、安全に関する方針に沿って定量的な改善目標を定めています。

さらに、同社は常に環境に優しい製品の開発に注力しています。

このような品質関連の問題に対する意識と注意の結果として、2017年にISO9001：2015認証を取得することにつながりました。



展示会の様子



ISO9001登録証



同社従業員の90%がオルトナの出身です。採用を通じて地域の雇用に大きく貢献しています。2015年にオルトナ市長が当社工場を訪問し、現地のコミュニティに対する貢献への感謝の気持ちを伝えられました。また、地元の空手/柔道スポーツ教育学校を支援することを決定しました。ここでは、オルトナの町の10代の若者が訓練され、スポーツ価値と相手の尊敬のための教育に特に注目されています。

